

学び合って分かる授業蝶屋モデル

学習過程	区切り	教師の指導	めざす児童の姿
構え	チャイムスタート	<ul style="list-style-type: none"> ○はじめの挨拶 ●教師が見届ける 	「起立 今から○限目の△△の授業を始めます 礼 着席」
つかむ	課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○既習との違いに気付かせる <ul style="list-style-type: none"> ・前の学習との違いは何か ○思考させる課題をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・～どうして○○になるのかな（理由） ・～するにはどうしたらいいかな（方法） ・～に気をつけて～しよう（観点） 	<p>児童の心をつかむ学習課題の設定</p> 
	見通しをもつ	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴールをイメージさせる 	資質・能力の共有
考える	自己決定をする	<ul style="list-style-type: none"> ○自力解決できる手立て <ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えをもたせる ●既習をもとに考えさせる ●考える視点を提示、選択肢を用意する ●根拠（言葉・文・絵・図・表・実物）に線を引く ●順序だてて分かりやすく自分の考えを書く（ノート指導） 	
学び合う		<ul style="list-style-type: none"> ○目的を明確にした交流 <ul style="list-style-type: none"> ●目的をはっきりさせる <ul style="list-style-type: none"> 知る、増やす、確かめる、深める、広げる など ●効果的な学習形態を工夫する <ul style="list-style-type: none"> 全体交流、ペア学習、グループ学習、フリー交流など ●質問や感想を伝え合う ●反応しながら聴く ●根拠を指し示しながらわけを説明する 	
まとめる	情報の整理	<ul style="list-style-type: none"> ○思考を深めるための発問をする <ul style="list-style-type: none"> ●学びをつなげる問い合わせや深めの発問 <ul style="list-style-type: none"> 「どこ（どの文や言葉）からわかりますか？」 「本当にいいのかな？」 「この場合はどうかな？」 	<p>獲得した学びを共有する</p> 
	課題のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に正対したまとめをする <ul style="list-style-type: none"> ●板書のキーワードを使って自分の言葉で書く 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○活用・適用 <ul style="list-style-type: none"> 「この問題でも使えるかな？」 「自分の生活の中でも考えられる場面はあるかな？」 	
	ふり返り	<ul style="list-style-type: none"> ○ふり返りをする <ul style="list-style-type: none"> どんな力が身に付いたのかを中心に、ふり返りを書く 	
	チャイムで終わる	<ul style="list-style-type: none"> ○終わりの挨拶をする <ul style="list-style-type: none"> ●教師が見届ける 	「起立 これで○限目の授業を終わります 礼 着席」